

平成29年度 国保日高総合病院新改革プランの点検・評価

1. 総論

前年度に引き続き有資格者の積極的な採用の奏功や施設基準の見直し等により、入院収益及び外来収益の増額(改善)に繋がったが、当初作成したプランの数値には届かず、未達成である。一方、有資格者の積極的な採用に伴う人件費、C型肝炎治療新薬の購入による薬品費及び循環器系の高額なカテーテル等の診療材料費の増が医業費用増加の原因になっているが、当初作成したプランの数値よりも減少し目標を達成することができた。プランにおいては収益面において未達成であったことに伴い、経常損益も悪化した。患者数や比率では数値目標を概ね達成できており、次年度以降も目標を達成できるよう経営努力が求められる。

2. 改革プラン進捗状況

(単位:百万円、人、%)

項目	平成28年度 新改革プラン	平成28年度実績	差	達成状況	備考
医業収益	5,788	5,599	▲ 189	×	
経常収益A	6,667	6,484	▲ 183	×	
医業費用	6,962	6,774	▲ 188	○	
うち職員給与費	3,900	3,338	▲ 562	○	
うち材料費	1,514	1,492	▲ 22	○	
うち減価償却費	572	572	0	○	
経常費用B	7,353	7,188	▲ 165	○	
経常損益(A-B)	▲ 686	▲ 704	▲ 18	×	
経常収支比率	90.7	90.3	▲ 0.4	×	
医業収支比率	83.1	82.7	▲ 0.4	×	
材料費の対医業収益比率	26.2	28.7	2.5	×	
病床稼働率	78.3	77.5	▲ 0.8	×	
1日当たり入院患者数	268	269	1	○	
1日当たり外来患者数	644	649	5	○	
救急受入患者数 (時間外・休日)	6,365	6,227	▲ 138	×	
紹介率	28.1	27.6	▲ 0.5	×	
逆紹介率	23.5	23.5	0	○	